

特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会

OAJ NEWS

Olympians Association of Japan

vol. 2018 **35**



スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業



●OAJインタビュー／タイジエストコラム

スポーツを隅の隅まで 楽しみたい

小平奈緒（スピードスケート／バンクーバー、ソチ、平昌）


Alzawa
Hospital

オリンピックの人間力 ちか ら

「オリンピックの人間力」では、まなざしの奥に潜在するオリンピックの人間力に迫ります。
このインタビューは、OAJウェブサイト(<http://www.oaj.jp>)でご覧いただけます。

(文：田中清行、写真：田村友孝)

Nao Kodaira

ピクンと体が動いた。間髪入れずにダッシュ。テレビの前でもまんじりともせず凝視。百メートル10秒26で通過。こちらも息を注ぐ。速い。安定したコーナーワーク。力強く脚を左右に蹴り出しさらに加速する。そして最後の直線、大きく両手を振って長いストライド、トップスピードでゴール。テレビでは36秒95(正式タイム36秒94)、オリンピックレコード。掲示板のタイムを見て、ガッツポーズ。結城コーチと片手のハイタッチ。オリンピック三連覇を狙う李相花選手イサンファのレース後、日本小平奈緒、日本女子スピードスケート界初めての金メダル、アナウンサーの声が熱い。ビデオで数えた素人のズボラなデータだが平均数値化すると、一步約6メートル、時速50キロメートル弱。テレビ機数で改めて、スツゲー。



2010年バンクーバーオリンピックのパシュートで銀メダルを取ってからの四年間、23歳から27歳のその間は競技人生のピークだろうと自分自身信じていたので、身体を改造したり、トレーニングもガンガンやって、自分なりに努力を重ねました。練習が好きだということもあり、ガムシャラにやったと言うべきでしょう。こうしたら自分はこうなれると信じてやっているの、意義を見出せれば、いかにハードな練習でも何か楽しくなるんです。

結果、自分自身の成長もあったのですが、それ以上に世界の進化が凄まじくて、2014年のソチオリンピックでは惨敗に終わりました。結城先生と最善だと思ってやった練習が急激な成長に繋がらなかったのです。男子並みのトレーニングをやってきたと思ったソチで、500mが5位。全力を出し切ってもメダルに届かなかったという現実を知れたことだけでもよかったと言わねばなりません。後悔のない屈辱でした。

自分に責任を持って生活することが自信に繋がる

父親があまりスケートのことを知らない人でしたから、子供の頃から私と同じ目線で、どうしたら速く滑れるかを一緒に考えてくれて、速い選手を見てどう思うか、次の練習で何を意識してやるか、お互いよく話をしていました。そのせいでしょ。目的を持ってことに臨むということを大事にしてきました。もちろんその目的がマチガイの時もありました(笑)。でもやってみないとわからないんです。やったからわかるんです。トライアンドエラーは今でもあります(笑)。

オランダでのトレーニングを決めたのはソチオリンピックの少し前だったのですが、競技人生も後半にさしかかる27歳という年齢で、世界のスケートの本質を見てきたいと思ったのです。何かがあると思って行ったオランダでしたが、自分が求めていた中距離(1,000、1,500m)に関するヒントは掴めず、成績もその二年間全く伴わなくて、むしろ500mに特化するような結果になってしまいました。ただ帰国後、結城先生と遠征を振り返る中で気づいたことはたくさんありました。例えば、オランダ人と同じことをやってもオランダ人には勝てないということ。背の高いオランダ人がそれをメリットにして極めようとしていることを求めようとしても、日本人には合わない。日本人のメリットを最大限生かしながら、オランダ選手がやっていることをアレンジして取り入れるというのが「正解」なんだと(笑)。そのようにして結城先生との対話の中で自己流が積み上げられてきたんだと思います。

高校二年生から一人暮らしを始めたのですが、「全ては自己責任だ」と、父はここでも背中を押してくれました。自分の選んだ道は自己責任。風邪を引くのも自己責任。自分の責任だと思えば、逆にいろんなことに挑戦できるんです。それが自分の世界を広げてくれたと感謝しています。ソチオリンピックを終えて、二年間オランダに行った選択は、自分で決めたことだし、それには自信を持っていました。自分の覚悟には嘘をつかないで来れたかなと思っています。自分で選択したことに責任を持って生活できてきたことが、自信に繋がっていると思います。



スケートが身体の中に入ってくる

平昌オリンピックの500mは、スケートが身体の中に入ってくる感覚でした。「翻訳」は難しいのですが、自分で足を動かすか、氷から力ももらって足が動かされるかの違いと云えばいいでしょうか。自然に身体が動くと言うのがいいでしょうか。行った先のリンクに自分を合わせるのは鉄則ですし、流れとか「波」にうまく乗れるかが大切になってきます。波に乗れている、身体のリズムがいいというのが、スケートが身体の中に入っているということで、その場合は楽しく滑れますし、自ずとタイムもよくなります。



一方で、平昌を駆け抜けたい、という気持ちは一貫してありました。何か自分が得るものを毎日積み上げていきたいという思いが常日頃からあるので、平昌オリンピックをゴールにしてしまうとたぶんそこで満足してしまうと思ったのです。平昌オリンピックのその日のレースからも収穫を得たいし、その次の日の練習でも収穫を求めたいと思うので、そういう気持ちで駆け抜けていました。500mで金メダルを取った後、実際翌日の男子の500mを観戦して、そこで得たものを平昌のリンクで実践してみました。今だったらもうちょっと速く滑れるかもしれないという感覚を得ました(笑)。

自分が氷に問いかけて、その分の答えを返してくれる場合もありますが、自分の問いかけ以上に答えてくれる場合があります。そういう時は、何と云えばいいでしょう。気持ちいいというか、スカッとするというか。爽快感と共にゴールを駆け抜ける感じです。これはスタンドで見ている人にはわからないことかもしれません。私自身、できた時にのみ感じられる感覚なので、競技者のみに与えられる楽しさということができるかもしれません。そんな「特権」が少しくらいあってもいいですよ(笑)。

結城先生という存在

平昌でメダルを獲得した後で、メディアの人から、自分を表す言葉を三つ挙げてくださいと言われて、睡眠時間三時間の頭だったにも拘らず、瞬時に浮かんだのが、求道者、情熱、真摯でした。今考えても、まあまあいい選択だったと思います。三つそれぞれが微妙に反発するところもありますが、それはそれでいいかなと思っています。発見があるから情熱を注ぐことができますし、そこに何かがあるから求めようとしているのだらうと思います。

その発見や目的や何かをうまく引き出してくれるのが、結城先生という存在なのだと思います。コーチといえば、スポーツだけを教えているようなイメージがありますが、結城先生は教育者として、また研究者として、そして指導者という顔をお持ちなので、それが私たちにとっては、人間を伸ばしてくれる要因になっているのかなと思います。信州大学教育学部に幸い2005年に入学でき、今もここにいますが(笑)、ここに来てよかったとつくづく思っています。

ほぼ毎日ここに来て、学生と一緒に練習しています。冬になれば、氷の上での練習をここから少し離れたところにあるエムウェーブ(長野五輪の屋内会場)でやります。ここでは、学生た



ちと手づくりしたウェイト場とかトレーニング場を使って練習をえています。オンボロ屋敷で、毎年自分たちで用具を細々と買い揃えたり、絨毯を貼ったりしてえています(笑)。こんなところからでもオリンピックで活躍する選手が出ることを証明できたので、環境が悪いことを言い訳にするような学生はここにはいません。

感覚を研ぎ澄ませる

「奈緒の人生は神様がくれた時間。悔いのないように思う存分使いなさい」。オランダに行った時に父からもらったメール

です。オリンピックでの結果だけを追いかけていた自分が小さく思えて、自分の人生の中で競技できる時間はほんの一部、その後の人生の方が長いので、オリンピックで金メダルを取ること以上に、その後の人生を充実させていくことの方が、豊かに生きられるんじゃないかと今でも思っています。しかしメダリストになったことで世界が広がるということも確かにあるので、自分の可能性を広げてくれるきっかけになったとも思っています。

父とはそんなに連絡は取らないんですが、先日の父の日にはプレゼントをしました。その時は返事のメールが来て、最後の砦は守られた、とありました。三姉妹末っ子の私だけは覚えて

いたということなんです(笑)。

スピードスケートの500m、1,000m、1,500mは、陸上でいう中距離の持久力と短距離の瞬発力の両方を要求されます。朝起きた時に測る脈拍は36とかで、心臓が寝ぼけてるんじゃないか、ちゃんと起きてくれと思ったりします。陸に上がった河童とかと言いますが、実は陸で走ると遅いんです。100mでも400、800mでも遅いんですよ。スケートのポジションでこそ生かせる身体になっているようです。足首が柔らか過ぎで、陸上走では大股になり過ぎ、足が流れるんです。空中でなかなか足が戻ってこないというようなことになるんです。自分では早く足を動かそうとしてはいるのですが動かないんです。スローモーションのようです(笑)。陸上が縦に足を運ぶのに対して、スケートはスケートという道具を介して横に押しているので、全然違います。陸上で速く走れる人を私は本当に尊敬しています。

そして今は競技人生の終盤だと思っているので、一番の目標は、感覚を研ぎ澄ませていきたいということです。ガムシャラにやる時期はとくに過ぎていて、しかし成績に繋がりが始めてからは二年くらいなので、それをもう少し加速させ続けたいと思っています。自分の身体づくりですとか、改造した身体がどう変わるかを細かく突き詰めていきたい、研ぎ澄ませていきたいと思っています。



オリンピック：小平奈緒(こだいら・なお)

1986年長野県生まれ。3歳でスケートを始め、小学5年時の長野オリンピックでの清水宏保選手の活躍を目の当たりにし、益々のめり込む。中学2年で500mの中学記録更新。高校時代のインターハイでは500m、1,000mの二冠達成。2005年結城匡啓ゆうき まさひろコーチの指導を求めて、信州大学に進学。特訓と試行錯誤を重ね、各種大会で活躍。卒業後2009年松本市内の相澤病院に就職。同年の全日本スピードスケート距離別選手権500、1,000、1,500mで三冠。2010年のバンクーバーオリンピックでは団体パシュートで銀メダルを獲得。2014年ソチオリンピック500mで5位入賞。そして今年の平昌オリンピックで見事に500mで金メダル、1,000mで銀メダルを獲得。不断の努力は尚続く。

スポーツを隅の隅まで楽しんで終わりたいと思うんです。それをやらずに後悔するという事は避けたいと思っています。

言い訳にもならない理由で筆者は当日遅刻したのだが、テーブルにきちんと座って待っておられた小平さんの佇まいが鮮明に浮かぶ。背中を伸ばし、微笑を含む穏やかな表情で、正視されていた。時代を画すヒロインを前に、倍も生きていながら生き恥を晒した。気持ちを奮い立たせて、お話を伺ったが、話は一気に面白くなり、負い目は雲散霧消。拙問にも、そうですね、と一度受け入れてから徐ろに自論へ。そ

の内容の新鮮さとリアリティと含蓄。そしてユーモアと笑い。自ずと文章中の(笑)は増える。

父上の要所要所での見事な言葉や結城ゆうきコーチの「身体の知」の言語化に固執する指導が、元来宮沢賢治好きという小平さんの精神性や身体性をさらに大きく、強く、美しく成長させたのだろう。最後に筆者の感じた小平さんを表す言葉を三つ。寛大、聡明、高潔。

平成
29年度

総会・懇親会



平成30年3月27日（火）、目黒雅叙園（東京都目黒区）にて「平成29年度総会・懇親会」を開催し、110名にご参加いただきました。

本年度は世界オリンピックズ協会（以下、WOA）よりマイクミラー氏に来日・ご参加いただき、総会ではWOAの活動やOLY（詳細9頁）、ORC（オリンピックリユニオンセンター）についての説明があり、「2020年東京オリンピックでは、日本のオリンピックの皆様にも是非ご協力いただきたい。」とのコメントをいただきました。

懇親会では、シンクロナイズドスイミングでロンドン大会とリオデジャネイロ大会に出場した三井梨紗子さんに司会を務めていただき、鈴木大地会長からの挨拶、瀬古利彦理事による乾杯ののち歓談になりました。

また、会の中ではWOAの「The first Winter Edition of Olympians for Life」を受賞した猪谷千春副会長と、本年度の文化功労者に選ばれた三宅義信副会長への花束贈呈。会の後半では出場大会ごと、参加オリンピック全員の記念撮影を行った後、早田卓次理事長の中締めの挨拶で盛会に終了いたしました。

平成30年度総会・懇親会は平成31年3月26日（火）に開催予定です。より多くの方々と世代や競技の枠を超え、同じオリンピックズとしての交流会となるよう楽しみにしております。



猪谷千春さん

2018年「Olympians for Life」受賞のご報告

オリンピックの皆様はオリンピックの価値の核です。このことをより多くの人に再認識していただき、オリンピックの社会貢献を広めるとともに、世界中のオリンピックに勇気と希望を届けることを目的として、WOAとIOCは「Olympians for Life」を創設しました。

平昌オリンピック開催期間中に冬季競技を対象とした第1回目の授賞式が行われ、本会の猪谷千春副会長が、引退後も人生をかけてスポーツの発展、スポーツを通じた社会貢献に尽力されていることを評価され、表彰されました。



三宅義信さん

「文化功労者」受章のご報告

本会の三宅義信副会長が平成29年度の「文化功労者」を受章されました。

ウエイトリフティングで1960年ローマ大会から4大会連続でオリンピックに出場し、1964年東京大会、1968年メキシコシティー大会では金メダルを獲得。

引退後も長年にわたりウエイトリフティング競技を通じ、スポーツ文化の向上発展に大きく寄与した功績が認められての受章です。



©公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

金子正子さん

第1回目「Coaches Lifetime Achievement Awards」受賞のご報告

IOCは、アスリートの人生におけるコーチの多大なる功績を称えるため、「Coaches Lifetime Achievement Awards」を創設しました。その第1回目の受賞者として、金子正子さんが選ばれました。

日本でシンクロナイズドスイミングが始まったころからコーチとして活躍、初心者オリンピック水準までに育てるという多大なる績を残したこと。また1984年のロサンゼルス大会から2004年のアテネ大会まで全ての大会で育てた選手がメダルを獲得した唯一のコーチであることが高く評価されました。



誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない
スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

www.toto-dream.com www.toto-growing.com

19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売: 独立行政法人日本スポーツ振興センター

OLYとは？

オリンピックに出場されたオリンピックの方々のみが使用できる称号です。

Ph.D. (博士号)やM.D (医学博士)のように、名前の前や後に付けることで、皆様がオリンピックであること、オリンピック出場に向けて不屈の努力をされたこと、現在もオリンピックムーブメントの体現者として社会へ貢献をされていることなどを、周りの方々に伝えることができます。

現在、1万名近くの世界中のオリンピックの方々を使用しています (2017年11月以降)。

OLYの申請方法

- ①<https://olympians.org/olympians/oly/>へアクセス (QRコードからも可能)。ページの上のほうに日本語のページへのリンクがあります。
- ②必要事項を入力して申請してください。申請が完了しましたら、確認のメールが送付されます。
※英数字での入力をお願いします。
※メールアドレスの記載がないと承認されませんので必ずご記入ください。(携帯やご家族のメールアドレスなど確認できるものであれば構いません。)
- ③IOCでオリンピックであることが確認されましたら、登録されたメールアドレスにOLY証明書 (PDF) が送付されます (1週間程)。
※1週間以上連絡がない場合には記載内容に誤りがある可能性がございますので、お問合せください。
- ④OLY証明書を印刷してお部屋に飾ったり、名刺やレターヘッド、履歴書など、どこにでも、OLYを使用することが出来ます。

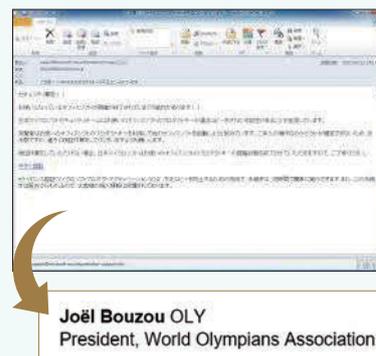


OLYのピンバッジ

OAJの正会員で、OLYの認証を受けた方に限定のピンバッジをお送りいたします。発行には申請が必要になりますので、下記「発行の流れ」をお読みいただきご申請ください。

〈発行の流れ〉

- ①メールの件名、本文に下記の項目をご記入いただき、WOAから送られてきたOLY証明書を添付の上、お送りください。
件名: OLY申請
本文: ①お名前 ②生年月日 ③競技 ④ご住所 ⑤電話番号
メール送信先: oly-shinsei@oaj.jp
- ②OAJの正会員であることが確認できしだいお送りいたします。



2nd Olympians Association of Asia Meeting

第18回アジア競技大会 (2018 / ジャカルタ・パレンバン) 開催期間中の8月20～21日、世界オリンピックス協会 (WOA) のアジア会議がジャカルタで開催されました。日本から本会会員である伊藤華英さんが、WOAの小谷実可子理事の代理として出席しました。

会議では、OAJの取り組みについても紹介したほか、各NOAを代表する参加オリンピックとの意見交換が積極的に行われました。



平成
29年度

オリンピックふれあい交流事業 【子どもゆめ基金助成活動】

オリンピック巡回指導事業 【スポーツ振興くじ (toto) 助成事業】

オリンピック巡回指導事業

2 / **24** 大阪府豊中市
●豊中市立庄内体育館

バスケットボール 講師 参河紀久子
大山妙子

参加人数 96名




オリンピックふれあい交流事業

10 / **1** 北海道中標津町
●中標津町総合体育館

卓球 講師 宮崎義仁

参加人数 47名




オリンピックふれあい交流事業

2 / **17** 兵庫県芦屋市
●芦屋市立青少年センター体育館

バレーボール 講師 永富有紀
坂本清美

参加人数 86名




オリンピックふれあい交流事業

11 / **23** 青森県青森市
●青森県営スケート場

アイスホッケー 講師 坂上智子
平野由佳 中奥梓

参加人数 46名(内、トークショーのみ21名)




オリンピック巡回指導事業

11 / **26** 山口県宇部市
●宇部市立東岐波小学校 体育館

バドミントン 講師 水井妃佐子
須賀泰子

参加人数 34名





オリンピックふれあい交流事業

11 / **3** 和歌山県和歌山市
●和歌山ビッグウエーブ

フェンシング 講師 千田健太

参加人数 30名




オリンピック巡回指導事業

11 / **5** 愛知県名古屋市中区
●邦和スポーツランド

アイスホッケー 講師 坂上智子
平野由佳

参加人数 68名




オリンピック巡回指導事業

7 / **29** 静岡県掛川市
●掛川西高等学校体育館

バレーボール 講師 坂本清美
泉川正幸

参加人数 127名




開催会場一覧

主催／特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会
協力／公益財団法人日本オリンピック協会

オリンピック巡回指導事業

10/7 北海道別海町／北海道標津町
●別海町総合スポーツセンター
●標津町総合体育館

卓球 講師 渡辺武弘

参加人数 56名



バレーボール 講師 坂本清美
杉山祥子

参加人数 59名



オリンピックふれあい交流事業

9/9 青森県青森市
●青森市室内プール

水泳 講師 中村真衣

参加人数 58名



オリンピックふれあい交流事業

11/5 埼玉県深谷市
●深谷ビッグタートル

バドミントン 講師 町田文彦
水井妃佐子

参加人数 97名



平成30年度 オリンピック巡回指導事業 開催一覧

●オリンピック巡回指導事業

【スポーツ振興くじ(toto)助成事業】

10/8 香川県高松市
●香川県立総合水泳プール
競泳

10/20 愛知県名古屋市長
●邦和スポーツランドアイスリンク
アイスホッケー

10/28 北海道岩見沢市
●岩見沢市総合体育館
柔道

11/17 高知県高知市
●高知県立県民体育館
卓球

11/23 和歌山県和歌山市
●県立和歌山北高等学校西校舎
体育館・柔道場
レスリング

11/25 東京都中野区
●哲学堂運動施設 庭球場
ソフトボール

12/2 大阪府茨木市
●茨木市立東市民体育館
バドミントン

12/9 埼玉県深谷市
●深谷市総合体育館(深谷ビッグタートル)
バスケットボール

12/15 長野県松本市
●松本平広域公園陸上競技場
陸上競技 短距離

3/21 青森県青森市
●新青森県総合運動公園 サブアリーナ
新体操

オリンピックの集い

平成29年度 オリンピックの集い(広島)

平成30年2月3日(土)、シェラトングランドホテル広島(広島県広島市)にて「平成29年度オリンピックの集い」を開催し、中国ブロック在住のオリンピックを中心に22名の方にご参加いただきました。

本会イベントに初参加の方もおり、自己紹介や各競技の情報交換、報告を行いました。

今後も各地で開催を続けてまいりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



平成29年度 オリンピックの集い(ゴルフ大会)

スポーツでのオリンピック相互の交流を主眼とし、今回で第8回目となる平成29年度オリンピックの集い(ゴルフ大会)を平成29年10月11日(水)に埼玉県の森林公園ゴルフクラブにて開催。

10名のオリンピックに参加いただきゴルフコンペと懇親会を実施しました。



お知らせ

OAJ公式のFacebookページとInstagramを開設しました

Facebook ページ

アカウント名 @oaj.jp

▶<https://www.facebook.com/oaj.jp/>



Instagram ページ

アカウント名 olympians_japan



「平成30年度日本オリンピックズ協会 総会・懇親会」開催のお知らせ

年に一度開催しております、日本オリンピックズ協会 総会・懇親会につきまして、本年度は下記のとおり開催する予定です。

会場: 明治記念館

日時: 平成31年3月26日(火) 17:00～